

年末年始の業務案内



＜市役所窓口業務＞ ※住民票の写しや各種証明書が必要な人は、お早めに手続きを。

休業日	注意事項	問い合わせ（宿日直）
12/27(土)～1/4(日)	休業期間中、斎場使用の申し込みや戸籍の届出は、本庁・各地域局の宿日直で受け付けます。ただし、有漢・川上・備中地域局は夜間の届出、問い合わせはできません。	本庁TEL②0200 地域局：有漢TEL⑤3200、成羽TEL④3211 川上TEL④2200、備中TEL④2211

＜ごみ等の収集業務・持ち込み＞

分類	休業日	問い合わせ
燃やせるごみ 燃やせないごみ	12/31(木)～1/4(日)	環境衛生課TEL②0259 各地域局住民福祉課
資源収集品	12/27(土)～1/4(日)	
燃やせるごみ 燃やせないごみ	12/27(土)～1/4(日) ※12/29(月)・30(火)は持ち込み可。 (時間 8:30～12:00、13:00～16:30)	クリーンセンター(段町)TEL②4651
資源収集品	12/27(土)～1/4(日)	リサイクルプラザ(落合町阿部)TEL②0530

＜し尿くみ取り業務＞

休業日	問い合わせ
12/27(土)～1/4(日)	環境衛生課TEL②0259 各地域局住民福祉課

＜火葬業務＞

休業日	問い合わせ
1/1(木) ※祭壇の飾り付けは行います。	環境衛生課TEL②0259

＜主な文化施設＞

施設名	休館日	問い合わせ
総合文化会館	12/28(日)～1/4(日)	TEL②1040
文化交流館 (歴史美術館)	12/28(日)～1/4(日)	TEL②0180
成羽町美術館	12/28(日)～1/5(月)	TEL④4455
吉備川上ふれあい 漫画美術館	12/29(月)～1/3(土)	TEL④3664
景年記念館	12/28(日)～1/5(月)	教委備中分室 TEL④4515
図書館等	高梁中央図書館	12/29(月)～1/3(土) TEL②2912
	成羽図書館	12/27(土)～1/5(月) TEL④2589
	有漢図書室	12/28(日)～1/5(月) 教委有漢分室 TEL⑤2013
	川上図書室	12/27(土)～1/4(日) 教委川上分室 TEL④2203
	備中図書室	12/27(土)～1/4(日) 教委備中分室 TEL④4515

＜主な観光施設＞

施設名	休館日	問い合わせ
備中松山城	無休 ※ただし、12/28(日)～ 1/3(土)は本丸へ入場で きません。	管理事務所 TEL②1487
うかん常山公園	無休 ※レストハウスは12/31(火) ～1/3(土)まで休業	有漢：産業建設課 TEL⑤3213
吹屋ふるさと村 郷土館、旧片山家住宅、 笹畝坑道、広兼邸、 ベンガラ館等	12/29(月)～12/31(水) ※1/1(木)から営業	成羽町観光協会 吹屋支部 TEL②9222
弥高山公園	無休	管理事務所 TEL④2830
磐窟谷公園(磐窟洞)	12/29(月)～1/3(土)	川上：産業建設課 TEL④2201
マンガ絵ぶた公園	12/29(月)～1/3(土)	備北商工会川上支所 TEL④2000
西山高原レジャー施設	1/4(日)・5(月)	TEL④3633

＜主なスポーツ施設＞

施設名	休館日	問い合わせ
市民体育館(勤労青少年ホーム)	12/28(日)～1/4(日)	市民体育館TEL②1880
神原スポーツ公園・高梁運動公園・ききょう緑地グラウンド	12/28(日)～1/4(日)	スポーツ振興課TEL②0425
有漢スポーツパーク・有漢テニスコート	12/28(日)～1/4(日)	教委有漢分室TEL⑤2013
有漢総合グラウンド・有漢体育館	12/28(日)～1/3(土)	
なりわ運動公園	12/28(日)～1/4(日)	社会教育課TEL④2525
成羽武道館	12/28(日)～1/3(土)	
備中やすらぎの里(多目的グラウンド・テニスコート)	無休	備中：産業建設課TEL④4514
用瀬嶽フリークライミング広場		

＜生活福祉バス＞

全便運休期間	問い合わせ
12/27(土)～1/4(日)	市民課TEL②0254

※掲載しているものは主なものです。掲載されていないものについては各施設または市役所等へお問い合わせください。

女子教育に身を捧げた

福西志計子 ①

裁縫教師への道

福西志計子は高梁の御前町に生まれ、幕末から明治(今から百数十年前)を生き、困苦勉強のなかに県下で最初の女学校(当時全国に9校のみ)を創設し、その生涯を女性の自立と向上のために奮闘した。



藩校・有終館の跡地に高梁小学校と女紅場があった

その尊い一生をたどつてみたい。

当時、松山藩は激動の時代を送っていた。困窮した藩財政を建て直し、学問を発展させたのが山田方谷である。方谷は幼時より学問に励み、その優れた学力・人格を認められ、藩校である有終館の学頭(校長)になつて藩士教育にあたるとともに、松山最初の私塾「牛麓舎」を創り、学問を目指して各地より集まる生徒を教えていた。

この塾の隣家に福西志計子は生まれた。父は福西郡左衛門(伊織)、母は飛天、弘化4(1847)年12月のことで、幼名は繁、後に志計、志計子と呼ばれた。志計子は隣家の塾生の句読の声を聞きながら大きくなり、山田方谷の教えを受けて学問への強い情熱を持



つ子どもに育つていった。

7歳の時に父は亡くなり、母は彼女を実家の剣持家で育てたが、10年後の慶応2(1866)年、志計子に養子助五郎(井上泉平七男)を迎えて福西家を復活させた。助五郎は藩の産物を扱う撫育方などを勤め、明治初年には野山の百姓一揆の終息を岡山役所に報告した記録が残っている。「岡山県通史(下巻)」の松山藩の侍帳でみると、彼は準下士(下級士族)で米八石二人扶持、維新後米七石二斗とあり、一家の生活は厳しかった。

元の家に戻るのは明治2(1869)年の9月、岡山藩の撤退後高梁藩として二万石で再建されてからである。藩が存続の危機に立たされたこの間、藩士はどのような生活をしていたのであろうか。志計子は和裁の師匠などをして家計のやりくりをしていたと思われる。

ため次々に制度をつくり、明治5(1872)年に学制を公布し、女子も男子同様に勉強ができるようになった。明治6(1873)年に有終館の跡地に高梁小学校が設置された。

明治8(1875)年福西志計子が29歳の時、10歳年長の木村静と一緒に岡山裁縫伝習所に入學した。木村静は木村忠蔵の長女で江戸に生まれた。19歳で本家に嫁ぎ、31歳で夫を失ったあと二女の養育に努めていた。

2人が学業を終えて帰った明治9(1876)年7月に、「女子教育普及ノタメ各郡二女紅場ヲ設置シ、年齢十四歳以上ノ婦女子ヲ入場セシメ、裁縫ヲ専修セシメ、傍ラ言語礼節身体動作の略節ヲ学バシム」との布達があり、10月高梁小学校に女紅場が付設された。2人はその教師として勤務するようになった。この女紅場は翌年高梁小学校付属裁縫所と改称する。

(文・児玉 享さん)

明治新政府は新国家建設の